

事例24 交付金を100%活用した農地管理

むつ市 金谷沢

協定農地 田15ha 協定参加者 21人

- 金谷沢集落では、個人に少額を配分するよりも、約120万円の交付金全額を共同活動に充て、活動の可能性を広げたという考えで、平成13年度に協定を締結しました。
- 集落協定締結前は、共同作業のほとんどを人力で行っていましたが、締結後は交付金で機械の借上げができるようになり、草刈りや水路の泥上げ等の作業の省力化が図られました。
また、農地等の管理について、集落で話し合いがもたれるようになり、今まで手付かずの状態であった耕作放棄地にも管理が行き届くようになりました。
- 今後も、耕作放棄地の解消に力を入れるとともに、農家の所得向上をめざした転作作物の導入等のため、集落内で話し合っていく予定です。



耕作放棄地周辺の草刈り